

## 「収納メンテナンス」セミナーのご質問への答え

この度は弊社WEBセミナー収納にご参加頂きまして改めて御礼申し上げます。

頂きましたご質問等にお答えさせていただきます。

### Q1：処理能力はあり成果を上げるための鍵を握っているが悲観的でやる気のない部下とどう向き合ったら良いのでしょうか？

★貴方の成果を上げたいと云う目的が自己目的や会社の利益目的の為の場合は、部下をやる気にさせるのは、なかなか難しいかも知れませんね？利他心の神髄をもう一度考えて見ましょう。

今の若者は気乗りがしないと積極的にはならない可能性が高いと思います。人間と云う生き物は環境に左右される生き物ですから・・・職場の風土も問題が有るのかも知れません。風土は経営者のマインドによりその殆どが醸成されますから、根っこが深いかも知れませんね？

まずは出来る事は上司の貴方が人間関係を深めて信頼関係が築けないと、やる気のない部下に何を言っても糠に釘で心労ばかりが増える可能性があり得ます。まずは、利他心を発揮して部下からの信頼を勝ち取る事が良いかも知れませんね・・・尊敬できる人、自分を真に理解してくれる人の為には人は一生懸命になる生き物ですね

### Q2：

・子供が収納ケースからおもちゃを出して遊んだ後に、親が片付けをしようとする、嫌だと言われ、つい後回しにしてしまいます。子供と楽しく片付けするには、何か良い方法はありますか？

・子供にどうやって片付けをできるように教えるか、片付けをしてくれないので悩んでいます。

・こどもが使ったら使っぱなしでなかなか片付けの習慣が身につかなくて困っています。なにかいい方法があれば教えてください！

★上記3つの質問は、同じですのでまとめて答えますね！

基本的に子供と大人は違う生き物、子供の時間軸と価値観が全く違いますので、只、ただ、根競べしか有りません。私も昔を思い出すと、目の前の子供が片付ける為に必死で・・・お片付け出来るまで次の事は何もしない！・・・と、トコトン根競べをした思い出が蘇ってきます。

泣いても何しても・・・ただ、ただ、1時間以上は平気で待ち続けた思い出が有ります。ご飯も何も次の事はさせませんでした。片付ける意味の大切さを、ウサギと亀やかちかち山の物語をアレンジした形式で話したりして切々と訴え続けて・・・ただ、ただ、待つ、子供は物語が大好きですからね・・・

時間切れで妥協する時も親の100%負け妥協だけは絶対にしないでください。何か何でも良いのでさせて下さい。100%妥協は子は親を見きります。コイツ大した人間では無いな！！！！と・・・

時折弊社の店頭でも・・親を自分の子分や召使に仕立てた子供（幼子）を見かけます。

子を真に愛するとは？？？と・・・自問自答して見るのも良いかも知れませんね・・溺愛は最悪の虐待です。

根競べ、これしか無いのです。躰とは本当に忍耐力が必要な物です。子供にコイツ（貴方の事）中々手ごわい人間だ！と心底思わせる事が肝要です。そして片付けが習慣になる期間はだいたい3ヶ月前後と云われています。繰り返し、繰り返し最低3ヶ月忍耐強く同じ事を繰り返すしか他に方法は有りません。

何かを習慣化したいと思っても習慣化するまでにどのくらいの期間がかかるのか？ロンドン大学の実験では、習慣化するまでの期間は平均66日、最長9ヶ月、毎日のルーティンにしていくことで、出来の良い素直な子なら最短1ヶ月後には、やるのが当たり前の行動になります。私は“素直さ”の良し悪しは遺伝では無いのかと思っています。

そして3つの段階を経て習慣は身に付きます。

1、第1段階である反発期は、字のごとく本能的に抵抗してしまい辞めたくなる時期です。反発期を乗り越える方法⇒大きな課題を与えない⇒毎日5分以内で終わることをする、やりすぎない⇒出来たら心から褒める！⇒親もメチャメチャ喜ぶ！

2、第2段階である不安定期は、振り回される時期。少しずつ習慣化することに慣れてきた頃ですが、まだ習慣化するまでは不安定なので要注意な状態  
不安定期では目標に向けて少しずつ強度を上げていく。時間・場所を決めパターン化する、例外ルールを作る⇒パターンを決めてもできない日がある、そのときは、やらないという選択ではなく違った方法（受け入れやすい何か別の同種の事をする）を決めておく。

3、第3段階目である倦怠期は、マンネリ化を感じやすく、続けることに飽きてくる時期。今までは、頑張っってなんとか続けてきたことも続ける意味がわからなくなったり、物足りなくなったりします⇒人間は飽きる生き物⇒この時期上手に続けていくためには、変化をつけていくことが重要。

少しの変化でも人はワクワクし、やってみようと思う気持ちが大きくなる⇒倦怠期にもなると最初の目的を忘れてしまっている人もいる⇒最初の慶びや褒められた事を思い出させる⇒習慣を身につける目的は何だったのか再認識する必要

そして何事にも継続は力なりで定期的に適正なメンテナンスは不可欠です。

これはあらゆるモノに付いて言える原理原則です。親子でも夫婦でも友人関係でも仕事でも家でも車でも食生活でも・・・全てに於いてメンテナンスは不可欠です。

日日是新たなり・・・今できる最善を今の今やりつづけて・・・出来なくなった時が死すると云う事です！！！

今回は弊社WEBセミナー収録にご参加いただきまして心より御礼申し上げます。

ご意見・ご質問、誠にありがとうございました。

また9月のWebセミナー「**防災**」で共に学び抜きましょう。